

ファイル自動整頓ツールVer1.3.7 設置手順書

第 5.0 版

目 次

1	はじめに	1
1.1	本書の読み方	1
1.1.1	略称について	1
1.1.2	商標について	1
1.2	システム概要	1
1.3	本書の対象読者	1
1.4	注意事項	2
1.5	ファイル格納通知ツールと併用する場合の注意事項	2
1.6	対応機種	3
1.7	環境資源	4
1.8	対応 OS・Web ブラウザ	4
1.9	用語について	5
2	事前準備	6
2.1	インストールの準備	6
2.1.1	インストールファイルの確認	6
2.1.2	インストール用クライアント PC	6
2.1.3	ライセンスファイルの入手	6
2.1.4	複合機 AMS 環境の確認	6
2.2	複合機の設定 (アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合)	7
2.3	複合機の設定 (アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行わない場合)	11
2.4	個人フォルダーの作成方法	15
2.4.1	アドバンスドボックスのユーザー登録 (Gen1/Gen2)	15
2.4.2	アドバンスドボックスのユーザー登録 (Gen3)	17
2.4.3	アドバンスドボックス個人スペースの作成	19
3	インストールとセットアップ	23
3.1	SMS (Service Management Service) を利用したインストール方法	23
3.2	SMS (Service Management Service) を利用したアンインストール方法	26
4	環境設定	31
4.1	Web ブラウザからのログイン方法	31
4.2	アプリケーションの個別設定	33

1 はじめに

1.1 本書の読み方

1.1.1 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows 10 operating system 日本語版 :Windows 10

Microsoft Windows 11 operating system 日本語版 :Windows 11

1.1.2 商標について

iR、imageRUNNER、imagePRESS、MEAP はキヤノン株式会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

1.2 システム概要

キヤノン製複合機 (imageRUNNER ADVANCE (以下複合機)) で、アドバンスドボックスに保存されたファイルを自動的に整頓するツールです。アドバンスドボックスの仕様で、1フォルダー内に保存可能なファイル (フォルダー) 数の上限が 1000 ファイルという制限により、ファイルが保存できなくなるケースがあるため、本ツールにて定期的にフォルダーを監視し、サブフォルダーへファイルを移動します。また、本ツールにて移動されたフォルダー名を基に保持期間が過ぎたフォルダーを削除します。

1.3 本書の対象読者

本書は、複合機にファイル自動整頓ツールをインストールされる方向けの設置手順書です。

1.4 注意事項

- ・ 本ツールの複合機への導入にあたっては、インストール用の PC が必要になります。複合機へ通信可能なインストール用 PC をご用意ください。
- ・ 管理者設定画面は複数の Web ブラウザから操作しないでください。
- ・ 本ツールは本体内のアドバンスドボックスに対してのみ監視を行い、ほかの複合機のアドバンスドボックスを監視することはできません。
- ・ アドバンスドボックスへのアクセス時のプロトコルには SMB Ver1.0 または Ver2.0.2 を利用します。本ツール利用時は複合機側設定で SMB Ver1.0 または Ver2.0.2 を有効にしてください。
- ・ アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合は、複合機本体の SMB サーバー設定の「SMB サーバーを使用」及び、SMB 認証設定の認証タイプ「NTLMv2」の設定を ON にする必要があります。
- ・ アドバンスドボックスのフォルダーにアクセスする際のパス文字列は最大 128 文字までとなります。
- ・ アドバンスドボックス内にファイル・フォルダーを保存した場合やファイル名を変更した場合はファイル・フォルダーの作成日時、更新日時が変更されます。本ツールにより移動したファイルの作成日時、更新日時も同様に移動した日時へ変更されます。
- ・ 本ツールの監視フォルダー設定で監視先に個人フォルダーを設定する場合、あらかじめアドバンスドボックスのユーザーアカウントの登録と個人スペースの作成を行う必要があります。
- ・ 移動先のサブフォルダー内にすでに同じ名前のファイルが存在する場合は移動できません。
- ・ 基本は、本ツールが作成したフォルダーを削除対象とします。
- ・ 手動で作成したフォルダーの場合でも、本ツールが作成するフォルダー名規則のルールに則ったフォルダーであれば、削除対象とします。
- ・ 本ツール作成のフォルダー名規則について
 - － 年月フォルダー:YY 年 MM 月
年月フォルダーは先頭から数値比較して保持期限より小さい場合、削除対象となります。
 - － 日サブフォルダー:YY 年 MM 月¥DD 日 または YY 年 MM 月¥DD 日_n (n は数値)
日サブフォルダーは先頭 DD 日を先頭から数値比較して保持期限より小さいものが削除対象となります。
- ・ 年月フォルダー(YY 年 MM 月) 配下に手動で作成したフォルダーは、年月フォルダーが削除されるタイミングで同時に削除されます。

1.5 ファイル格納通知ツールと併用する場合の注意事項

- ・ ファイル格納通知ツールの監視前に、本ツールの監視処理が実行された場合、設定によってはファイル格納通知ツールの通知より前にファイルが移動され、正常に通知ができない場合があります。この場合は本ツールの基本設定にてファイルの移動待機時間を調整してください。

1.6 対応機種

本ツールに対応する機種は以下のとおりです。

カラー複合機

- imageRUNNER ADVANCE DX C357F
- imageRUNNER ADVANCE DX C359F
- imageRUNNER ADVANCE DX C3730F/C3720F
- imageRUNNER ADVANCE DX C3835F/C3830F/C3826F
- imageRUNNER ADVANCE DX C3935F/C3930F/C3926F
- imageRUNNER ADVANCE DX C5740F/C5735F
- imageRUNNER ADVANCE DX C5760F/C5750F
- imageRUNNER ADVANCE DX C5850F/C5840F
- imageRUNNER ADVANCE DX C5870F/C5860F
- imageRUNNER ADVANCE DX C7780/C7770/C7765
- imageRUNNER ADVANCE C355F
- imageRUNNER ADVANCE C356F II
- imageRUNNER ADVANCE C3530/C3520
- imageRUNNER ADVANCE C5035/C5030
- imageRUNNER ADVANCE C5051/C5045
- imageRUNNER ADVANCE C5240/C5235
- imageRUNNER ADVANCE C5255/C5250
- imageRUNNER ADVANCE C5540/C5535
- imageRUNNER ADVANCE C5560/C5550
- imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055
- imageRUNNER ADVANCE C7270/C7260
- imageRUNNER ADVANCE C7580/C7570/C7565
- imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO
- imageRUNNER ADVANCE C9280 PRO/C9270 PRO
- imagePRESS C270/C265

モノクロ複合機

- imageRUNNER ADVANCE DX 4745F/4735F/4725F
- imageRUNNER ADVANCE DX 4845F/4835F/4825F
- imageRUNNER ADVANCE DX 4945F/4935F/4925F
- imageRUNNER ADVANCE DX 6000
- imageRUNNER ADVANCE DX 6780/6765
- imageRUNNER ADVANCE DX 6870/6860
- imageRUNNER ADVANCE DX 8795/8786/8705
- imageRUNNER ADVANCE 4045/4035/4025
- imageRUNNER ADVANCE 4245/4235/4225
- imageRUNNER ADVANCE 4545/4535/4525
- imageRUNNER ADVANCE 6075/6065/6055
- imageRUNNER ADVANCE 6275/6265/6255
- imageRUNNER ADVANCE 6575/6565/6560/6555
- imageRUNNER ADVANCE 8105 PRO/8095 PRO/8085 PRO
- imageRUNNER ADVANCE 8295 PRO/8285 PRO/8205 PRO
- imageRUNNER ADVANCE 8595/8585/8505

※ Fモデルがある機種は、Fモデルを対応機種に含みます。

※ iR-ADV Gen3 2nd Edition がある機種は、iR-ADV Gen3 2nd Edition も対応機種に含みます。

※ iR-ADV Gen3 3rd Edition がある機種は、iR-ADV Gen3 3rd Edition も対応機種に含みます。

1.7 環境資源

本ツールでは以下の環境資源を使用します。本ツールをインストールするためには、インストール先の複合機の環境資源に空き容量があることが前提となります。

【使用資源容量】

ハードディスク	10,248KB
メモリ	10,000KB
スレッド	10 個
ファイル記述子	15 個
ソケット	10 個

1.8 対応 OS・Web ブラウザ

◇ OS

- Windows 10 Pro / Enterprise
- Windows 11 Pro / Enterprise

◇ Web ブラウザ

- Microsoft Edge (Internet Explorer モードはサポート対象外)

1.9 用語について

用語/略称	説明
MEAP	MEAPとは Multifunctional Embedded Application Platform の略で、複合機などの周辺機器に組み込まれるソフトウェアプラットフォーム。
複合機	キヤノン製複合機 imageRUNNER/ imageRUNNER ADVANCE/imagePRESS の総称
SecurityAgent サービス	複合機から送信される認証情報を元に、ActiveDirectory に対して認証処理を行う複合機本体付属の Windows サービス。 キーボード認証時に使用されます。
SMS (Service Management Service)	Web ブラウザを利用してネットワーク経由で複合機にアクセスし、MEAP アプリケーションのインストールや管理を行う複合機本体付属のソフトウェア。 使用方法については複合機本体付属のマニュアルをご参照ください。
SMB プロトコル	ネットワーク上のコンピューター間の通信プロトコルで、Windows ネットワークもこれを利用しています。ファイルサービスやプリントサービスを実現するためのネットワークプロトコルです。
NTLMv2 認証	Windows でネットワーク・ログオン時などに使われる認証方式の一つ。
ファイル格納通知ツール	キヤノンのホームページから無償でダウンロード可能なソフトウェアです。 ネットワーク上の複合機から SEND 機能を使って送信したファイルをクライアント PC が受信・格納したときに、PC のディスプレイ上に通知するツールです。 ファイルが送信されたことを音やバルーンなどでお知らせするので、ほかの業務に専念することができます。またログを保存することもできるので、あとから履歴を確認することができます。
アドバンスドボックス	本体に標準搭載されている HDD の領域を利用し、SMB または WebDAV プロトコルにてファイル共有を実現します。

2 事前準備

2.1 インストールの準備

2.1.1 インストールファイルの確認

複合機にファイル自動整頓ツールを導入するためには、以下のファイルが必要です。

■インストール時に必要なファイル

ファイル名	説明	入手方法
File Arrange Tool_x.x.x.jar	アプリケーションファイル (x.x.x はバージョン番号)	CDS からダウンロード
licence.lic	ライセンスファイル	※別途入手してください。

※上記ファイル名は実際のファイル名と異なる場合があります。

2.1.2 インストール用クライアント PC

ファイル自動整頓ツールの“アプリケーションファイル”及び“ライセンスファイル”の複合機へのインストール作業は、Webブラウザから専用のインストールページ“Service Management Service (以下SMS)”を利用して行います。

対象複合機と同一ネットワーク上に存在し、Webブラウザを利用できるPCが必要となります。

2.1.3 ライセンスファイルの入手

複合機へのファイル自動整頓ツールのインストールは、管理対象とする全ての複合機に対して行う必要があります。管理対象とする全ての複合機に有効なライセンスファイル、または、複合機台数分のライセンスファイルを手入してください。

2.1.4 複合機 AMS 環境の確認

本ツールはAMS環境でご利用頂けます。

【AMS環境確認方法】

- ① AMSに対応した認証アプリケーションが動作している。
(現在お使いの認証アプリケーションがAMSに対応しているかは、対象の認証アプリケーションのマニュアルでご確認ください。)
※①に当てはまらない場合は非AMS環境となりますので、②以降の確認は不要です。
- ② 複合機のカウンタキーを押し、[カウンター確認]画面を表示します。
- ③ デバイス構成確認ボタンを押し、[デバイス構成確認]画面を表示します。
- ④ デバイス構成の中に「ACCESS MANAGEMENT SYSTEM」と表示があれば、対象の複合機はAMS環境になります。

2.2 複合機の設定(アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合)

アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合は、以下の手順に従って複合機の設定変更を実施して頂く必要があります。

1. Web ブラウザを立ち上げ、以下の URL に接続します。
「http://複合機の IP アドレス:8000/」

以下のログイン画面が表示されます。

ユーザー名:

パスワード:

ログイン先:

ユーザー名とパスワードを入力し、ログイン先を指定して[ログイン]をクリックしてください。

Copyright CANON INC. 2022

2. 下記情報を入力し[ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容	備考
ユーザー名	Administrator	大文字・小文字を区別します。
パスワード	7654321(初期値)	大文字・小文字を区別します。
ログイン先	このデバイス	

※パスワードは、お使いの環境によって異なる場合があります。
お使いの環境のパスワードは事前にご確認ください。

ログインできないときは・・・

- ログインできない場合には、対象の複合機で動作する認証アプリケーション付属のマニュアルをご確認ください。

3. 「設定/登録」ボタンを押します。



4. 「設定/登録」画面を表示します。「ネットワーク」-「SMB サーバー設定」を押します。



5. 「SMB サーバーを使用する」、「SMB 認証を使用する」「認証タイプ:NTLMv2」にそれぞれチェックを入れます。[OK]ボタンを押します。



※ 認証タイプ「NTLMv1」の設定は任意です。

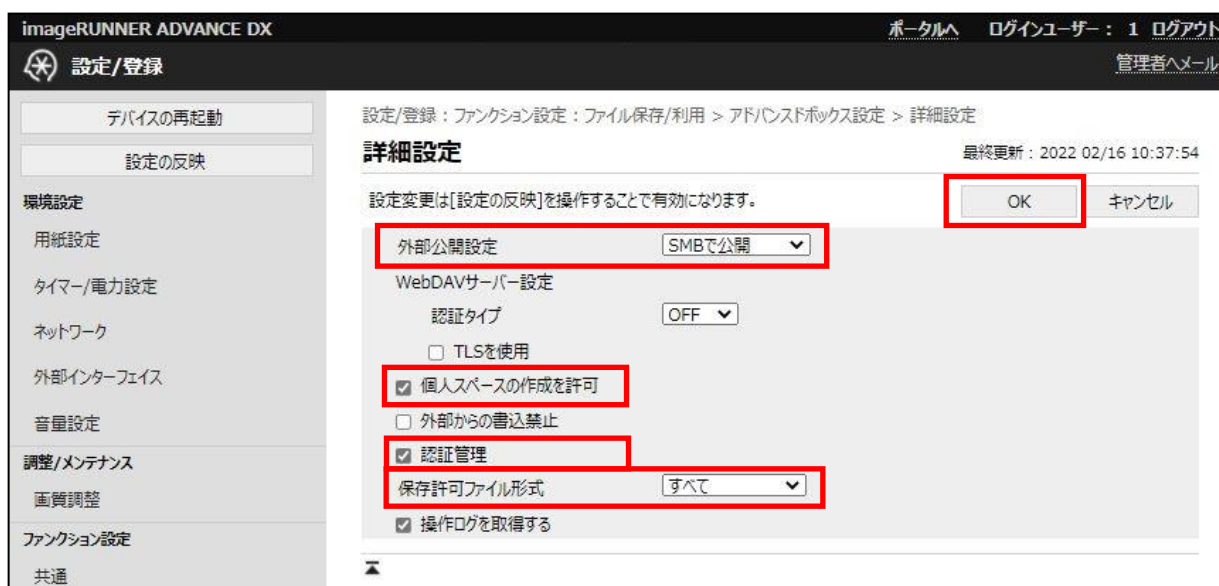
6. 「ファイル保存/利用」-「アドバンスドボックス設定」を押します。



7. 「詳細設定」を押します。



8. 「外部公開設定」を「SMB で公開」にします。「個人スペースの作成を許可」、「認証管理」にそれぞれチェックを入れます。「保存許可ファイル形式」を「すべて」にします。[OK]ボタンを押します。



9. 複合機の再起動をします。
以上でインストールの準備は完了です。続けてファイル自動整頓ツールのインストールを実施してください。

2.3 複合機の設定(アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行わない場合)

アドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行わない場合は、以下の手順に従って複合機の設定変更を実施して頂く必要があります。

1. Web ブラウザを立ち上げ、以下の URL に接続します。
「http://複合機の IP アドレス:8000/」

以下のログイン画面が表示されます。

ユーザー名:

パスワード:

ログイン先:

ユーザー名とパスワードを入力し、ログイン先を指定して[ログイン]をクリックしてください。

Copyright CANON INC. 2022

2. 下記情報を入力し[ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容	備考
ユーザー名	Administrator	大文字・小文字を区別します。
パスワード	7654321(初期値)	大文字・小文字を区別します。
ログイン先	このデバイス	

※パスワードは、お使いの環境によって異なる場合があります。
お使いの環境のパスワードは事前にご確認ください。

ログインできないときは・・・

- ログインできない場合には、対象の複合機で動作する認証アプリケーション付属のマニュアルをご確認ください。

3. 「設定/登録」ボタンを押します。



4. 「設定/登録」画面を表示します。「ネットワーク」-「SMB サーバー設定」を押します。



5. 「SMB サーバーを使用する」にチェックを入れ、「SMB 認証を使用する」のチェックを外します。[OK]ボタンを押します。



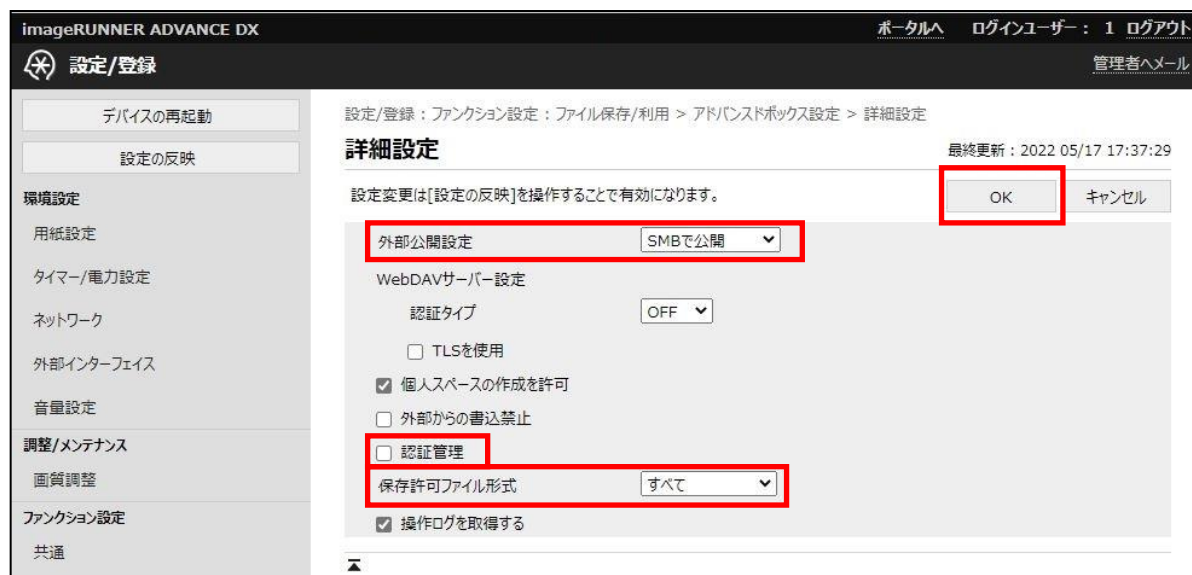
6. 「ファイル保存/利用」-「アドバンスドボックス設定」を押します。



7. 「詳細設定」を押します。



8. 「外部公開設定」を「SMBで公開」にします。「認証管理」のチェックを外します。「保存許可ファイル形式」を「すべて」にします。[OK]ボタンを押します。



9. 複合機の再起動をします。
以上でインストールの準備は完了です。続けてファイル自動整頓ツールのインストールを実施してください。

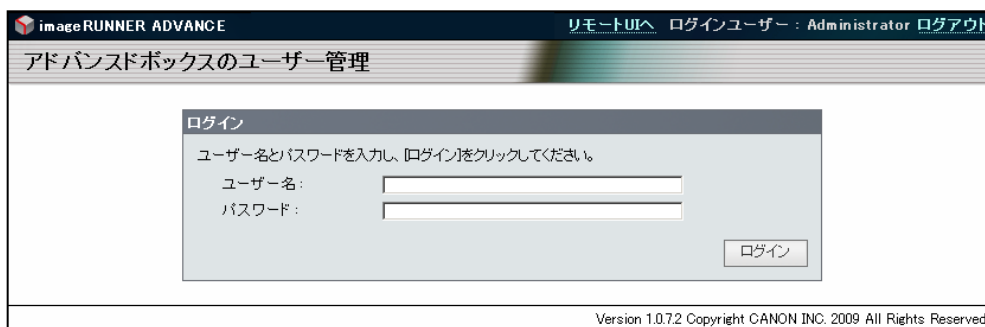
2.4 個人フォルダーの作成方法

2.4.1 アドバンスドボックスのユーザー登録 (Gen1/Gen2)

1. Web ブラウザを立ち上げ、以下の URL に接続します。
「http://複合機の IP アドレス:8000/」
「アドバンスドボックスのユーザー管理」を押します。



2. 「アドバンスドボックスのユーザー管理」にログインします。



3. 下記情報を入力し[ログイン]ボタンを押すと、「アドバンスドボックスのユーザー管理」のページが表示されます。

項目	内容	備考
ユーザー名	Administrator	大文字・小文字を区別します。
パスワード	password(初期値)	大文字・小文字を区別します。

※パスワードは、お使いの環境によって異なる場合があります。
お使いの環境のパスワードは事前にご確認ください。

4. 「ユーザーの追加」を押します。ユーザーアカウントを作成します。（「ユーザータイプ」は一般ユーザー/管理者どちらでもご利用が可能です。）

imageRUNNER ADVANCE リモートUIへ
ログインユーザー: Administrator User Access Controlからログアウト

アドバンスドボックスのユーザー管理

ユーザー管理 > 新規ユーザーの追加

ユーザーの追加 更新日時: 2010/07/01 15:40:23

追加 キャンセル

ユーザー名: (32文字以内)

パスワード: (32文字以内)

確認入力: (32文字以内)

ユーザータイプ: 一般ユーザー

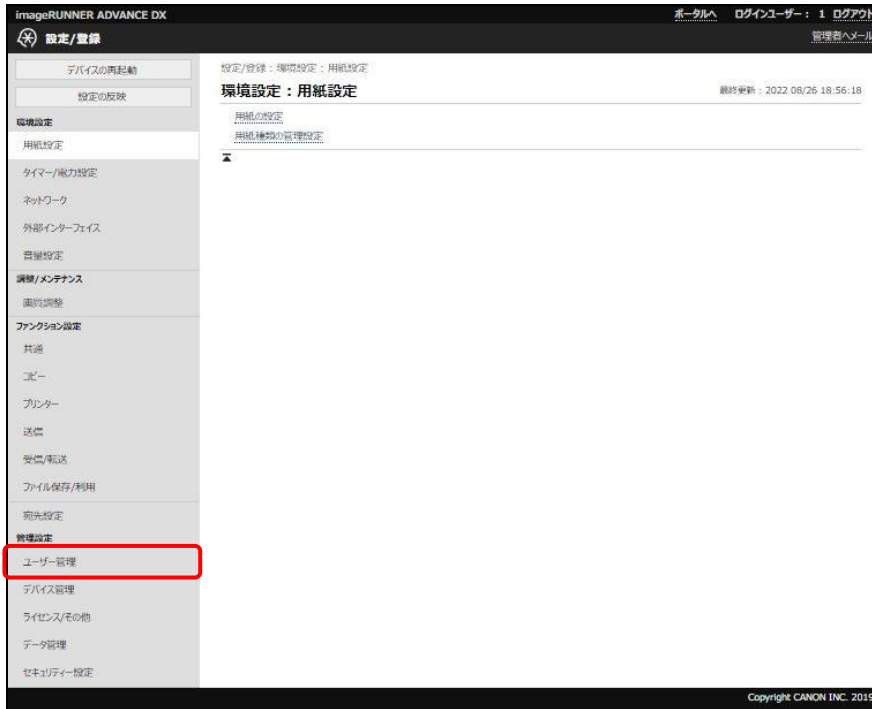
Version 1.0.7.2 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

※ ユーザー名は半角英数で作成してください。

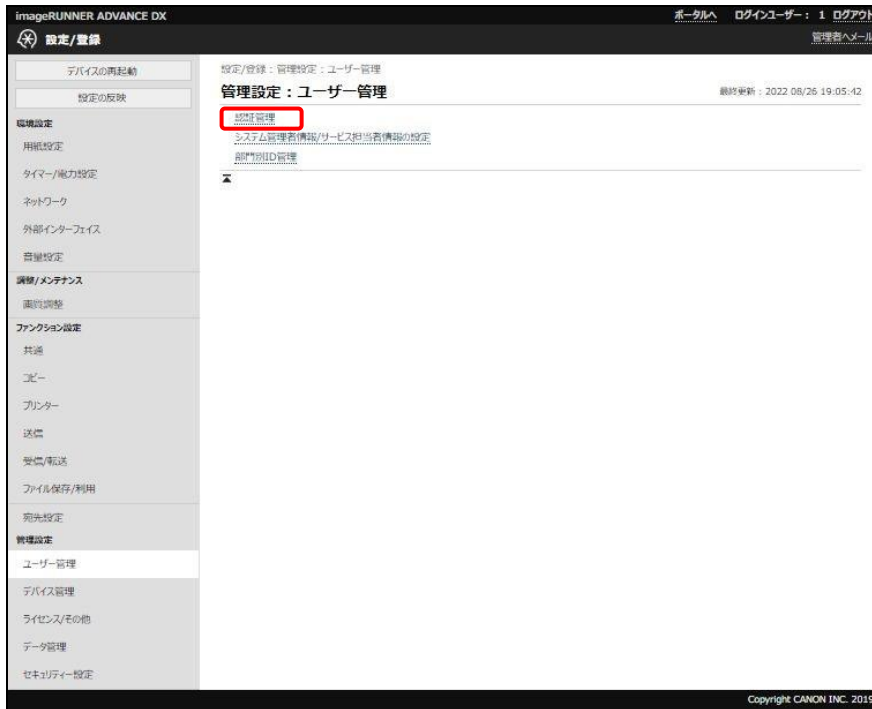
以上で Gen1/Gen2 複合機でのアドバンスドボックスのユーザー登録は完了です。
続けて「2.4.3 アドバンスドボックス個人スペースの作成」を実施してください。

2.4.2 アドバンスドボックスのユーザー登録(Gen3)

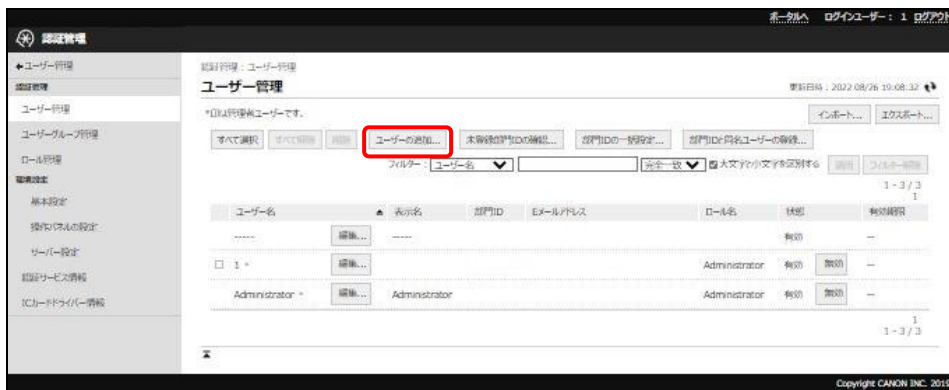
1. Web ブラウザを立ち上げ、以下の URL を入力し、管理者権限のユーザーでログインしてください。
「http://複合機の IP アドレス:8000/」
「設定/登録」から「ユーザー管理」のメニューを押します。



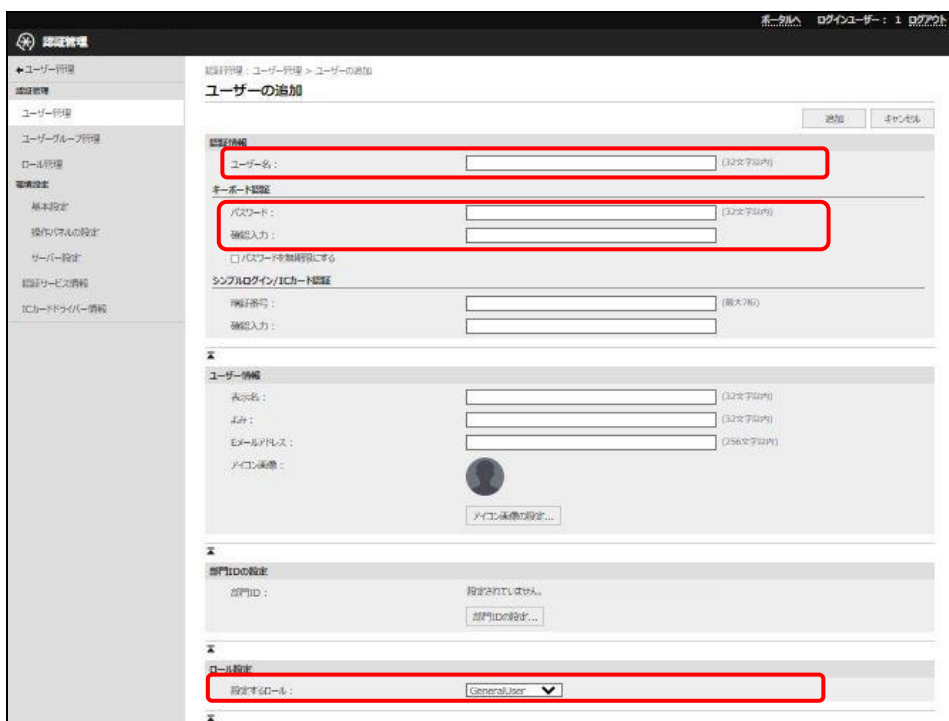
2. 「認証管理」を押してください。



3. 「ユーザーの追加」を押してください。



4. 「設定するロール」から「GeneralUser」または「Administrator」を選択し、「ユーザー名」と「パスワード」、「確認入力」を入力してユーザーを追加してください。



※ ユーザー名は半角英数で作成してください。

以上で Gen3 複合機でのアドバンスドボックスのユーザー登録は完了です。
続けて「2.4.3 アドバンスドボックス個人スペースの作成」を実施してください。

2.4.3 アドバンスドボックス個人スペースの作成

1. 「保存ファイルの利用」を押します。



2. 「アドバンスドボックス」を選択します。



3. アドバンスドボックスへのログインをします。

<アドバンスドボックスへのログイン>
ユーザー名とパスワードを入力します。

操作が終了したら、必ずログアウトしてください。

ユーザー名

パスワード

パスワードを保存

キャンセル OK

4. 「個人スペースの編集」-「個人スペースの作成」を押します。

保存ファイルの利用

個人設定

宛先/転送の設定

メニュー

利用するファイルの場所を選択します。

アドバンスドボックス

種類 名称

共有スペース

上へ

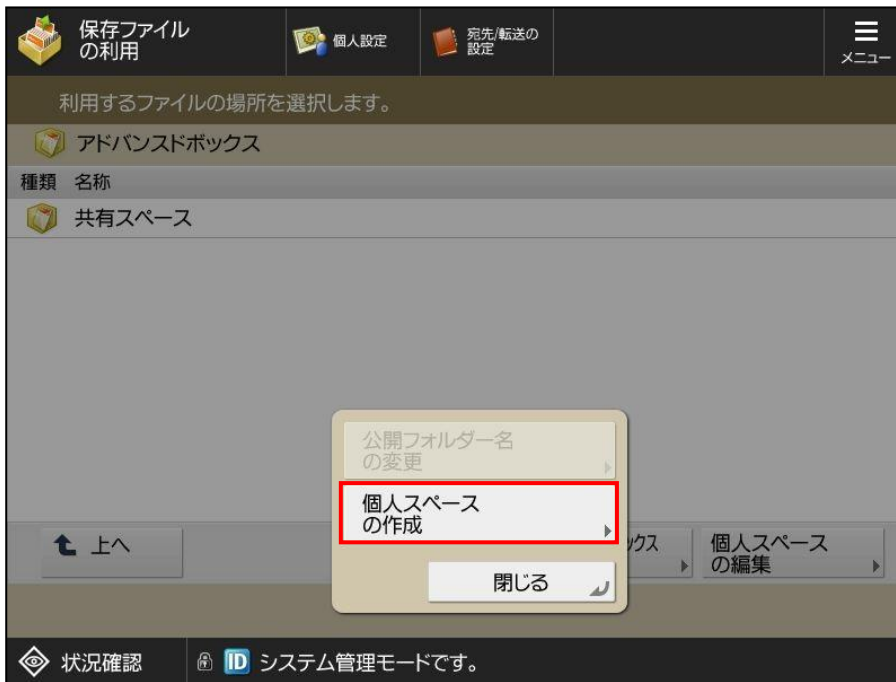
アドバンスドボックス 詳細情報

個人スペースの編集

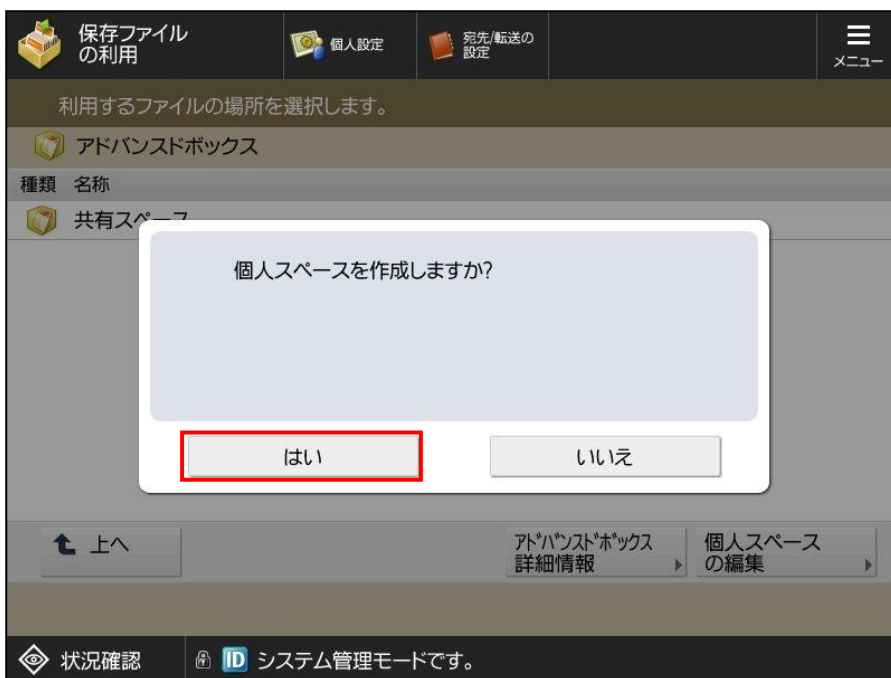
状況確認

ID システム管理モードです。

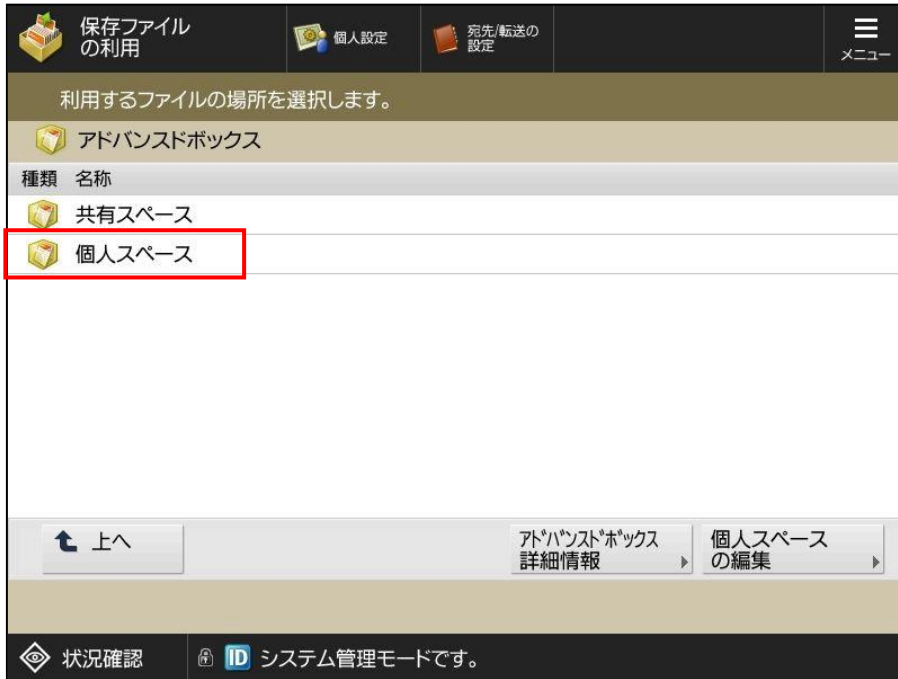
5. 「個人スペースの作成」ボタンを押します。



6. 「はい」を押します。



7. 「個人スペース」が作成されていることを確認します。



以上で個人フォルダーの作成は完了です。

3 インストールとセットアップ

3.1 SMS(Service Management Service)を利用したインストール方法

ここでは、複合機に「ファイル自動整頓ツール」をインストールする手順を説明します。

MEAPアプリケーションを管理するツールである「SMS」を利用して、インストールをします。
(SMSの詳細については、複合機本体付属のマニュアルをご参照ください。)

1. Web ブラウザを立ち上げ、以下の URL に接続します。
「http://複合機の IP アドレス:8000/sms/」 ※大文字小文字を区別します
2. SMS のトップ画面が表示されますのでパスワードを入力して[ログイン]ボタンを押します。
SMS のパスワードの初期値は、「MeapSmsLogin」(大文字・小文字を区別します)で設定されています。

※ すでに複合機が設置済みで別の MEAP アプリケーションがインストールされている場合、上記パスワードでログインできない可能性があります。その場合は、複合機の管理者に確認してください。

Service Management Service Language : Japanese

デバイスシリアルNo. :

ログイン

パスワードを入力してください。

パスワード:

ログイン

3. ログインに成功すると、以下の「MEAP アプリケーション管理」画面が表示されますので、画面左部の「MEAP アプリケーションのインストール」を押してください。

Service Management Service

デバイスシリアルNo. :

MEAPアプリケーション管理

MEAPアプリケーションのインストール

システム管理

拡張システムアプリケーション管理

システムアプリケーション管理

システム情報

MEAPアプリケーション情報

ライセンス確認

パスワードの変更

MEAPアプリケーションの設定情報管理

MEAPアプリケーションのログ管理

<< ソフトウェアの登録/更新

MEAPアプリケーション管理

MEAPアプリケーション管理

更新日時: 2022 02/16 8:36:27

アプリケーション名	更新日時	状態	ライセンス
▲			
資源情報			
リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	105574 KB	4088730 KB	3%
メモリー	600 KB	196008 KB	0%
スレッド	5	446	1%
ソケット	0	256	0%
ファイル記述子	10	246	4%
▲			

Copyright CANON INC. 2019

4. 以下の「MEAP アプリケーション/ライセンスのインストール」画面が表示されます。お持ちのアプリケーションファイル(拡張子「jar」)と、事前に入手したライセンスファイル(拡張子「lic」)を「ファイルの選択」ボタンよりそれぞれ選択し、「インストール後の処理」で「開始する」が選択されていることを確認の上、「インストール」ボタンを押してください。

Service Management Service

デバイスシリアルNo. :

MEAPアプリケーション管理

MEAPアプリケーションのインストール

システム管理

拡張システムアプリケーション管理

システムアプリケーション管理

システム情報

MEAPアプリケーション情報

ライセンス確認

パスワードの変更

MEAPアプリケーションの設定情報管理

MEAPアプリケーションのログ管理

<< ソフトウェアの登録/更新

MEAPアプリケーション/ライセンスのインストール

MEAPアプリケーション/ライセンスのインストール

インストール

アプリケーションファイルのパス: ファイルの選択 ファイルが選択されていません

ライセンスファイルのパス: ファイルの選択 ファイルが選択されていません

インストール後の処理: 開始する インストールのみ

Copyright CANON INC. 2019

5. 以下の「確認画面」が表示されます。内容を確認し、[はい]ボタンを押して続行します。
(以下、実際の製品は製品バージョン等下記の内容と異なる場合があります。)



6. 「File Arrange Tool」の「状態」が「開始」と表示されていることを確認してください。



以上で、複合機への ファイル自動整頓ツール のインストール作業は終了です。
引き続き、「4 環境設定」に進んでください。

3.2 SMS(Service Management Service)を利用したアンインストール方法

ここでは、「ファイル自動整頓ツール」を複合機からアンインストールする手順を説明します。

アンインストールを実施する前に、必要に応じて以下のデータをエクスポートしてください。

- ① ログファイル(状況確認画面よりエクスポート)
- ② 設定項目ファイル(設定のインポート/エクスポート画面よりエクスポート)


※ ファイル自動整頓ツールをアンインストールすると上記データは全て消去されますので、必要な場合は必ずアンインストール前にエクスポートを行ってください。

※ 各ファイルの詳細については、運用管理者向けマニュアルをご参照ください。

1. Web ブラウザを立ち上げ、以下の URL に接続します。

「http://複合機の IP アドレス:8000/sms/」

以下の「SMS のトップ画面」が表示されますので、パスワードを入力して[ログイン]ボタンを押します。
SMS のパスワードの初期値は、「MeapSmsLogin」(大文字・小文字を区別します)で設定されています。



2. 以下の「MEAP アプリケーション管理」画面が表示されますので、「File Arrange Tool」の「状態」が「開始」の場合には[停止]ボタンを押してアプリケーションを停止させてください。



アプリケーション名	更新日時	状態	ライセンス
File Arrange Tool	1.3.7	2022 05/18 11:32:55 開始	停止 インストール インストール済み

リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	163032 KB	4031272 KB	4%
メモリー	10600 KB	186008 KB	5%
スレッド	15	436	3%
ソケット	10	246	4%
ファイル記述子	25	231	10%

- 「File Arrange Tool」の「状態」が「停止」であることを確認します。
- 次に、ライセンスの削除を行います。「アプリケーション名」の「File Arrange Tool」のリンクを押してください。

Service Management Service

デバイスシリアルNo. :

MEAPアプリケーション管理

MEAPアプリケーションのインストール

システム管理

拡張システムアプリケーション管理

システムアプリケーション管理

システム情報

MEAPアプリケーション情報

ライセンス確認

パスワードの変更

MEAPアプリケーションの設定情報管理

MEAPアプリケーションのログ管理

MEAPアプリケーション管理

MEAPアプリケーション管理

更新日時 : 2022 05/18 20:31:15

アプリケーション名	更新日時	状態	ライセンス
File Arrange Tool	1.3.7 2022 05/18 11:32:55	停止	開始 アンインストール インストール済み

資源情報

リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	163032 KB	4031272 KB	4%
メモリー	55600 KB	141008 KB	28%
スレッド	45	406	10%
ソケット	20	236	8%
ファイル記述子	35	221	14%

- 「アプリケーション/ライセンス情報」画面が表示されます。[ライセンス管理]ボタンを押してください。

Service Management Service

デバイスシリアルNo. :

MEAPアプリケーション管理

MEAPアプリケーションのインストール

システム管理

拡張システムアプリケーション管理

システムアプリケーション管理

システム情報

MEAPアプリケーション情報

ライセンス確認

パスワードの変更

MEAPアプリケーションの設定情報管理

MEAPアプリケーションのログ管理

MEAPアプリケーション管理 > アプリケーション/ライセンス情報

アプリケーション/ライセンス情報

認証情報の設定 戻る

アプリケーション情報

アプリケーション名 : File Arrange Tool

製品バージョン : 1.3.7

アプリケーションID : b53ab47b-0128-1000-81fa-00e000c4ae6f

インストール日時 : 2022 05/18 11:32:55

更新日時 : 2022 05/18 11:32:55

説明 : File Arrange Tool 1.3.7.20220228

製造会社 : Canon Marketing Japan Inc.

Copyright : Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2022

インポートパッケージ : com.canon.meap.service.login com.canon.meap.service.sa javax.servlet http org.osgi.service.http com.canon.meap.service.http

資源使用状況

ストレージ : 10248 KB

メモリー : 10000 KB

スレッド : 10

ソケット : 10

ファイル記述子 : 15

ライセンス情報

ライセンス管理...>

状態 : インストール済み

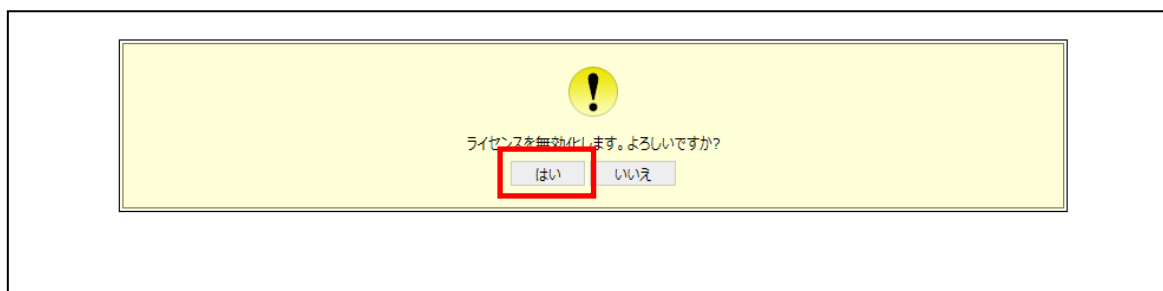
シリアルNo. :

有効期間 : 無期限

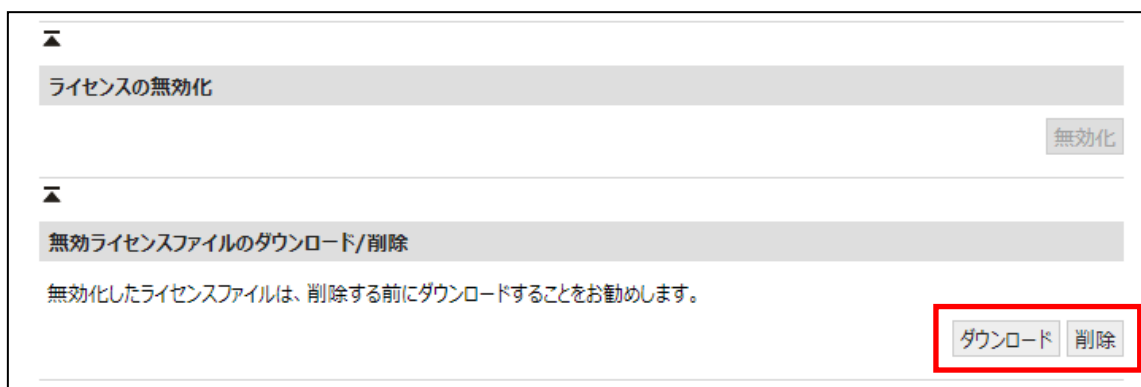
6. 「ライセンス管理」画面が表示されますので、同画面の「ライセンスの無効化」から[無効化]ボタンを押してください。



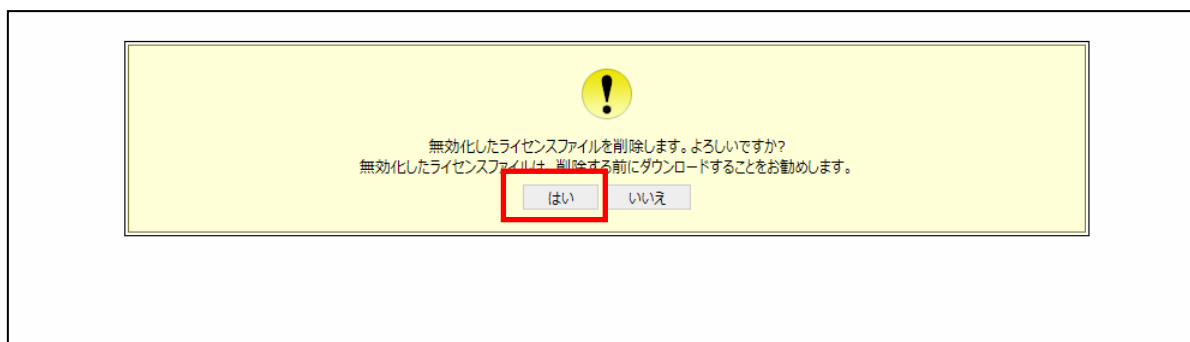
7. 以下の「確認画面」が表示されます。[はい]ボタンを押してください。



8. 「ライセンス管理」画面の「無効ライセンスファイルのダウンロード/削除」から[ダウンロード]ボタンを押して、ライセンスファイルをダウンロードしてください。
9. 次に、同画面で「無効ライセンスファイルのダウンロード/削除」から[削除]ボタンを押してください。
※[ダウンロード]ボタン、[削除]ボタンは、ライセンスの無効化後に押下可能となります。



10. 以下の「確認画面」が表示されます。[はい]ボタンを押してください。



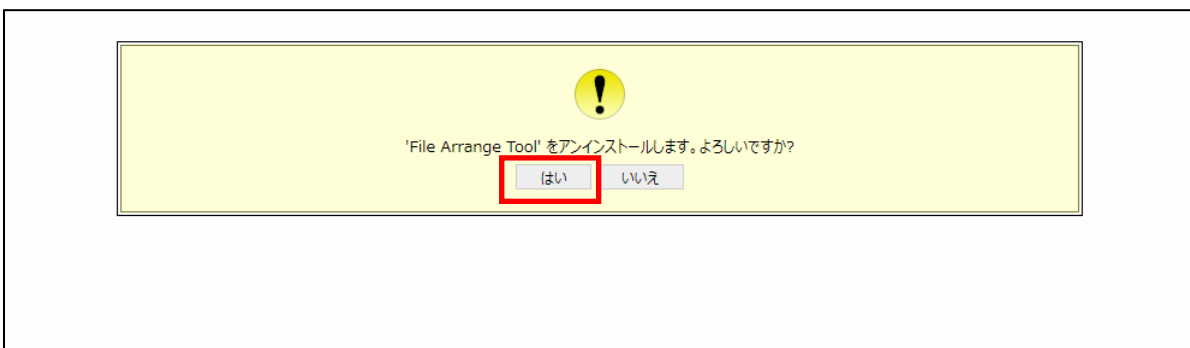
11. [MEAP アプリケーション管理]を押します。「ライセンス」が「未インストール」であることを確認し、[アンインストール]ボタンを押してください。

The screenshot shows the "Service Management Service" interface. On the left is a navigation menu with "MEAPアプリケーション管理" highlighted in a red box. The main content area is titled "MEAPアプリケーション管理" and includes a table of installed applications. The "File Arrange Tool" application is shown with a status of "停止" and a license status of "未インストール", which is highlighted in a red box. Below the table is a "資源情報" (Resource Information) section with a table showing usage and remaining capacity for various resources.

アプリケーション名	更新日時	状態	ライセンス
File Arrange Tool	1.3.7	停止	開始 アンインストール 未インストール

リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	163032 KB	4031272 KB	4%
メモリー	55600 KB	141008 KB	28%
スレッド	45	406	10%
ソケット	20	236	8%
ファイル記述子	35	221	14%

12. 以下の「確認画面」が表示されます。[はい]ボタンを押してください。



13. 「MEAP アプリケーション管理」画面が表示されます。一覧から「File Arrange Tool」が消去されていることを確認してください。

Service Management Service

デバイスシリアルNo. :

MEAPアプリケーション管理

MEAPアプリケーションのインストール

システム管理

拡張システムアプリケーション管理

システムアプリケーション管理

システム情報

MEAPアプリケーション情報

ライセンス確認

パスワードの変更

MEAPアプリケーションの設定情報管理

MEAPアプリケーションのログ管理

<< ソフトウェアの登録/更新

MEAPアプリケーション管理

更新日時 : 2022 02/16 8:36:27 ↻

アプリケーション名	更新日時	状態	ライセンス
▲			

資源情報

リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	105574 KB	4088730 KB	3%
メモリー	600 KB	196008 KB	0%
スレッド	5	446	1%
ソケット	0	256	0%
ファイル記述子	10	246	4%

Copyright CANON INC. 2019

以上で、アンインストール作業は終了です。

4 環境設定

ここでは、本ツールの個別の環境設定を行う手順を説明します。
環境設定は、Web ブラウザを用いて行います。

4.1 Web ブラウザからのログイン方法

認証アプリケーションが動作している時は、Webブラウザからの複合機へのアクセスは必ず認証が行われます。(リモートログイン)

ここでは、Webブラウザからのログイン方法を説明します。

1. Web ブラウザを立ち上げ、以下の URL に接続します。

「http://複合機の IP アドレス:8000/」

以下のログイン画面が表示されます。

ユーザー名:

パスワード:

ログイン先:

ユーザー名とパスワードを入力し、ログイン先を指定して[ログイン]をクリックしてください。

Copyright CANON INC. 2022

2. 下記情報を入力し[ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容	備考
ユーザー名	Administrator	大文字・小文字を区別します。
パスワード	7654321(初期値)	大文字・小文字を区別します。
ログイン先	このデバイス	

※パスワードは、お使いの環境によって異なる場合があります。

お使いの環境のパスワードは事前にご確認ください。

ログインできないときは・・・

- ログインできない場合には、対象の複合機で動作する認証アプリケーション付属のマニュアルをご確認ください。

3. 「管理用アプリケーション」から[ファイル自動整頓ツール]ボタンを押すと、ファイル自動整頓ツールの管理者設定ページが表示されます。

imageRUNNER ADVANCE DX

デバイス名：
製品名(シリアルNo.)：
設置場所：

ログインユーザー： 1 ログアウト

リモートUI：ポータル Language: Japanese 管理者へメール

最終更新：2022 05/18 20:51:50

デバイス基本情報

デバイス状況

プリンター： ● エラーが発生しています。
スキャナー： ● 読み込みできます。
ファクス： ● ファクスできます。

エラー情報

● 用紙がありません。
[エラー詳細\(全1件\)](#)

消耗品情報

給紙情報

給紙部	用紙残量	用紙サイズ	用紙種類
手差しトレイ	なし	サイズ不明	なし
用紙カセット1	良好	A4	普通紙1 (64~75g/m2)
用紙カセット2	なし	A4R	普通紙1 (64~75g/m2)
用紙カセット3	なし	A4	普通紙1 (64~75g/m2)
用紙カセット4	少ない	A3	普通紙1 (64~75g/m2)

トナー残量

カラー	残量
シアン	100%
マゼンタ	100%

状況確認/中止

設定/登録

アプリケーション

受信/保存ファイルの利用

ダイレクトプリント

アドレス帳

管理用アプリケーション

Service Management Service

User Setting Information Management Service

カスタム設定の同期

ファイル自動整頓ツール

4.2 アプリケーションの個別設定

「リモートUI: ポータル」の「管理用アプリケーション」から[ファイル自動整頓ツール]ボタンを押すか、Webブラウザを立ち上げ、以下のURLを入力し、管理者権限のユーザーでログインしてください。

「http://複合機のIPアドレス:8000/cmj/advbox_file_arrange」

ファイル自動整頓ツールの管理者設定ページを表示します。

ファイル自動整頓ツール [Setting] リモートUI

- 基本設定
- 監視フォルダー設定
- 設定のインポート/エクスポート
- 状況確認

基本設定

- 監視間隔: 24 (時間)
- ファイルの移動待機時間: 2 (0 - 60 分)
- フォルダーを自動的に削除する
- 保持期間: (1 - 365 日)
- 起動時に監視処理を実行する

設定 即実行

- 『フォルダーを自動的に削除する』を設定した場合、保持期間を過ぎたフォルダーは自動的に削除されます。必要なフォルダーは保持期間を過ぎる前に移動してください。
- 『即実行』ボタンを押下した場合、『監視間隔』に関係なく監視処理が実行されます。『監視間隔』以外は保存された設定にて実行されます。

Version 1.3.7 Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2022

ページは画面左の赤枠で囲んだ「メニュー」部分と、画面右の青枠で囲んだ「設定部分」に分けられます。メニューを押すことで、設定部分がリンクボタンに応じた画面に遷移します。

メニュー	内容
基本設定	監視を実行する基本動作の設定を行います
監視フォルダー設定	監視するフォルダーの設定を行います
設定のインポート/エクスポート	一括設定を行うための設定項目ファイルのインポート/エクスポートを行います
状況確認	監視処理の状況確認、ログファイルのエクスポートを行います

※各メニューの詳細については、運用管理者向けマニュアルをご参照ください。

5 動作確認

ファイル自動整頓ツールが正常にインストールされたことの確認を行います。

No	検証内容	正常動作	正常に動作したか(OK / NG)
1	監視パスを設定し、接続確認ができることを確認する	接続成功	
2	1で接続確認後、基本設定画面にて即実行ができることを確認する	即実行成功	

以上で、動作確認作業は終了です。

Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2023

注意：

1. 本書の内容の一部または全体を無断で複製することは禁止されています。
2. 本書の内容については万全を期しておりますが、万一誤りやご不審な点が見つかりましたら当社までご連絡ください。
3. 本書の誤りによる場合も含め、本書の内容がもとで発生した一切の損害につきましては、当社での責任を負いかねます。